

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 医療機関や介護施設が林立する福祉地域の中に立地することから、地域住民との接点は少ないが、ホームに理解を持つ近隣民家とは家族的なつながりを持っている。 近所の住人が、利用者を花見や食事に誘ってくれることもある。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年間6回、各偶数月に運営推進会議が開催されている。ホームからの詳細な活動報告の後、参加メンバーによる意見交換が行われている。 会議では、地域を代表して出席する区長から、地域行事などの貴重な情報が寄せられる。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） かつては、市の担当者との日常的なつながりがなかったが、推進会議への出席や市・担当者の異動（交代）がないことなどから、顔馴染みの協力体制ができてきた。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議での質問や発言、家族アンケートの意見等から、家族がホーム運営を他人任せにしていないことが伝わってくる。家族アンケートに答えた家族全員が、自由記述欄に意見を寄せた。 管理者が編集するホーム便り「まなびと日記」は手作り感にあふれており、読み手にやすらぎを与えてくれる。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>規定通りの運営推進会議が開かれており、地域との懸け橋としての役割を果たし始めた。平日に開催されるため、家族の参加が少ないのがさびしい。</p>

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。